

授業科目 法学	区分・教育内容		
	基礎分野 科学的思考の基盤		
授業担当者 大学からの非常勤講師	開講時期	単位	時間数
	前期	1 単位	30 時間
授業の目的 これから法学を学ぼうとする受講生に、実質社会において法の役割分担を、入門的な理解を通じて法的な考え方に慣れるように説明する。			
授業の目標 社会において、法と日常生活がどのような形で関わっているのかが、わかり易くなる。			
授業概要 これから法学を学ぼうとしている受講生に、実質的社会における役割分担を、入門的な問題を作成し、解きながら法的考えが身につくような授業をする。			
授業計画(進め方) <ol style="list-style-type: none"> 1. 法とは何か 2. 法と他の社会規範 3. 法の解釈、適用について 4. ひとり暮らしと法（民法・契約） 5. スマートフォン・インターネットと法（憲法・刑法） 6. 恋愛と法（刑法・民法） 7. 子どもの人権とは—児童の権利条約 8. 初めての就職（労働法・労働契約・ブラック企業・パワハラ） 9. ライフスタイルの選択（社会保障法・労働法） 少子高齢社会とワークライフバランス・シングルマザー 10. お金にまつわる問題（民法・消費者法） クレジットカード・借金・ローンや連帯保証人・多重債務 11. 人生の落とし穴（憲法・刑法・裁判手続・参審制・ADR） 12. もし生活に生きづまったら（労働法・リストラにあったら） 13. 老後の生活とリスク（社会保障法・年金・介護保険・認知症） 14. 財産の行くえ（遺言・法的相続・相続人） (1) 死んでからは遅い—遺言 (2) 財産はどう分けられる？ 			
テキスト 末川博編 法学入門 有斐閣			
参考書・指定図書 授業の時に説明する。			
評価の方法 小テスト、授業態度、期末試験等で総合評価する。			